

様へ

ME

月日	月 日		月 日	
経過	治療前日	当日(治療前)	当日(治療後)	
目標	検査に対する心身の準備ができる 前処置の必要性が理解でき確実に行える		出血がない 腹痛がない	
検査・治療	検査予約日に血液検査をします 	時 分頃より治療を行います 10分前までに透析センター 2 階受付にお越しください		
食事	いつもどおりの食事をとっていただいてもかまいません。 ただし、医師から特別な指示がある場合はそれに従ってください 			
処置		ベッドに横になりリラックスしてください  途中でトイレに行きたくない場合は治療を一時中断しますので申し出てください 穿刺部位の痛み、手指のしびれ、頭痛、悪寒、顔のほてりなどありましたら申し出てください	十分、止血を確認した後に帰宅(帰室)していただきます 穿刺部の疼痛、腫れ、ふらつきなどありましたら申し出てください	
注射・内服	医師の指示に従ってください  			
行動	制限はありません ただし、医師から特別な指示のある場合はそれに従ってください 			
説明	検査予約時に医師から検査の必要性、内容について説明をします  検査予約時に看護師から検査前の処置について説明をします 		医師から検査の結果、今後の治療について説明をします  看護師から検査後の生活について説明をします 	

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

				-			-		
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--

02-K51-1				クリニカル・パス			
パス名	白血球除去療法 (セルソーバー)			指示 医師		検査医	
				M E			

氏名 男・女

検査目的：潰瘍性大腸炎緩解導入（初発、難治、重症）

心血管系疾患：(無・有) 感染症：(無・有) アレルギー：(無・有)
 貧血：(ヘモグロビン 10g/dL 以下(無・有) 血小板減少：(10万 /mm³) 白血球(3000/mm³ 未満)：(無・有)
 代謝性疾患・神経筋疾患：(無・有) 肝・腎・呼吸器疾患：(無・有)

月日	月 日	月 日(回目)					
経過	治療前	治療中				治療後	
目標	検査に対する心身の準備ができる 前処置の必要性が理解でき確実に行える						
検査	赤沈 凝固 CBC 生化学	必要物品 回路 カラム(セルソーバー CS180S) カラム(セルソーバー EX) 20ml シリンジ 4本 3ml シリンジ 1本 エクステンションチューブ 2本 18G ピンク針 2本	イゾエクションパッド 2枚 テープ(優肌絆) 18G 針 イカトカエーラ または20G ガーナー各 2本 トッパー 2枚 駆血帯 タオル コッヘル 4本	アルコール綿 適量 血圧計 スピッツ (赤沈、凝固、CBC、生化学) 体温計 防水シート 2枚			
食事	指示食	指示食				指示食	
処置・観察	前回治療の経過	CAI (回目 /)		開始時	30分後	終了時	
		便回数	回	WBC	/mm ³	B P	
		(うち夜間)	回	CRP	mg/dl	P	
		(うち血便)	回	ESR	mm/hr	体温	
		(出血量)	少量・多量	Alb	g/dl	頭痛	
		排便切迫度	普通 若干 深刻 失禁あり	Hb	g/dl	血管痛	
		腹痛	なし 軽度 中等度 重度	脈拍	90/分以上・以下	腹痛	
		体温		腹部触診	なし 軽度・局所性 軽～中等度、分散性 重度または反発性	脱血不良	
		健康状態	全く健康 わずかな不良 体調不良 ひどい不良 非常に悪い	合併症	虹彩炎 結節性紅斑 関節炎	動脈血	
		追記		健康状態	全く健康 大変良い 良い 普通 悪い 大変悪い	静脈血	
注射・内服	必要薬剤 生食1000ml 1本 [生食 500ml 2本 フサン 50mg フサン 20mg 生食 20ml 2本 蒸留水(20ml) 1V]	蒸留水20mlにフサン70mgを溶解します フサンを溶解した蒸留水20mlのうち6mlを500mlの生食(プライミング用)14mlを500mlの生食(治療用)に加え 生食20mlにエクステンションチューブに接続します [プレドニン 錠 ベンタサ 錠 サラゾピリン 錠 免疫抑制剤() 錠]		署名			
行動	制限なし	両上肢の固定				制限なし	EPT特別紙参照
説明	医師より(検査予約時) 検査の必要性と内容説明 検査承諾書					医師より 検査結果の説明 次回治療予定 月 日 時 分	
追加・備考		QOL問診票					
バリエーション							

				-			-	
--	--	--	--	---	--	--	---	--

02-K51-2		クリニカル・パス	
パス名	顆粒球除去療法 (アダカラム)	指示 医師	検査医
		M E	

検査目的：潰瘍性大腸炎緩解導入（初発、難治、重症）

心血管系疾患：(無・有) 感染症：(無・有) アレルギー：(無・有)
 貧血：(ヘモグロビン 10g/dL 以下(無・有) 血小板減少：(10万 /mm³) 白血球(3000/mm³ 未満)：(無・有)
 代謝性疾患・神経筋疾患：(無・有) 肝・腎・呼吸器疾患：(無・有)

月日	月 日	月 日(回目)				
経過	治療前	治療中	治療後			
目標	検査に対する心身の準備ができる 前処置の必要性が理解でき確実に行える					
検査	赤沈 凝固 CBC 生化学	必要物品 回路(アダサキット) カラム(アダカラム) 20ml シリンジ 4本 18Gピンク針 2本 シリンジポンプ エクステンションチューブ 2本 イグ エクソパット 2枚	テープ(優肌絆) 1本 18Gカットカテーテル または20Gカテーテル各 2本 トッパー 2枚 駆血帯 タオル コツヘル 4本	アルコール綿 適量 血圧計 スピッツ (赤沈、凝固、CBC、生化学) 体温計 防水シート 2枚		
食事	指示食	指示食	指示食			
処置・観察	前回治療の経過	CAI (回目 /)	開始時	30分後	終了時	
	便回数	回 WBC /mm ³	B P			
	(うち夜間)	回 CRP mg/dl	P			
	(うち血便)	回 ESR mm/hr	体温			
	(出血量)	少量・多量 Al b g/dl	頭痛			
	排便切迫度	普通	H b g/dl	血管痛		
		若干	脈拍 90/分以上・以下	腹痛		
	腹痛	深刻	なし	脱血不良		
		失禁あり	軽度・局所性	動脈血		
	体温	軽度	軽～中等度、分散性	静脈血		
中等度		重度または反発性	差圧			
健康状態	重度	虹彩炎	フサン			
	全く健康	合併症	血流量			
追記	わずかな不良	結節性紅斑	血液処理量			
	体調不良	関節炎	署名			
注射・内服	必要薬剤 生食1000ml 1本	健康状態	全く健康			
	[生食 500ml 1本 フサン 50mg 生食 20ml 2本 蒸留水(20ml) 1V]	蒸留水20mlにフサン50mgを溶解します 生食500mlにフサンを溶解した蒸留水8ml(フサン20mg)を加えます 残りのフサン加蒸留水12mlは持続注入用とする 生食18mlにエクステンションチューブに接続します	[プレドニン 錠 ペンタサ 錠 サラゾピリン 錠 免疫抑制剤() 錠]			
行動	制限なし	両上肢の固定				
説明	医師より(検査予約時) 検査の必要性と内容説明 検査承諾書				医師より 検査結果の説明 次回治療予定 月 日 時 分	
追加・備考		QOL問診票				
バリエーション						